

学 園 広 報

No.65 2017.7

学校法人 平和学園 神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
TEL 0467 (87) 0131

<主な内容>

- 教育に軸を
- 幼・小・中・高の歩み
- グローバル教育カリキュラムの実践報告
- 学校説明会等日程
- 卒業礼拝 ● 卒業生だより ● 法人だより

平和学園幼稚園・平和学園小学校
アレセイア湘南中学高等学校
<http://www.aletheia.ac.jp/>

教育に軸を

子育て支援から考える

幼稚園長 橋 明子
小学校長



◆社会情勢の中で

平和学園が茅ヶ崎の地に産声を上げ2016年で70年の月日が流れました。学園は、キリスト教の教えを土台とし、温かな校風の中で「真の平和を作り出す人」を育ててきました。

子どもたちの元気な声が響き渡る学園の中で子どもと共に過ごす時間は私たち職員にとって貴重な時間です。私たちは子どもたちが育まれる環境を守っていかねばならぬという思いを強くします。なぜなら、社会には沢山の問題があり、それが子どもの生活、教育にも影響を及ぼしているからです。日本の未来を考えると、子どもたちが生まれ育った環境をどのように整えていくかが大きな課題です。例えば人口の減少問題、少子化問題と同時に、若い世代の雇用・賃金の問題、子育て支援など、各々の課題に何が必要なのかを考え、解決しなければなりません。

◆子育て支援の現状

子育てに関する講演会などに参加しますと子育て支援について期待が膨らむ話をよく聞きます。しかし、それらは大人に都合のよい支援になってはいないだろうか疑問に思うことがあります。例えば、子どもの夜泣きは、社会の仕組みが悪いからであり、仕組み

を変えれば夜泣きがなくなるのではないかとという意見がありました。しかし、それは夜泣きをする子どもに付き合う母親の立場から考えた支援になりかねません。

確かに、子育て支援は必要ではあります。確かに、やり方を間違えると、子育ての力が奪われてしまいます。子育ての力は、親が子どもと向き合って学んで獲得するものです。親自身の子育て力を高めるための支援の方法も考える必要があります。

◆平和学園の取り組み

平和学園幼稚園では子育て支援を様々な方法で取り入れています。子育てお話し会・遊ぼう会は親子で体を動かして遊ぶこと、工作に取り組むことなどを通して、心と体のスキッシュを育みます。時には幼稚園の教師だけではなく、小学校・中高の教師や生徒との交流をする機会も設けています。それは、大人が子どもの成長に不安を感じた時、わが子の一足先の姿となっている中高生と触れ合うことで子育てに希望が持てると思うからです。

また、大人同士が話し合う機会も大切にしています。懇談会(幼稚園は月に一度)・保育・教育相談などがあり、保護者と教師が話し合うことで、子どもの見方が深まり、幼児期・児童期に何が大切なことなのかを一緒に考えることができます。具体的な支援の一つとして預かり保育も始めました。働く保護者、介護やその他の用事がある保護者のために小さな子どもたちを預かるものです。子どもたちが安心して過

ごせる場を提供することが目的です。

◆本当に必要な支援とは

子育て支援は、大人側からの支援だけではなく、子どもたちの側からも考えた支援でありたいものです。私たちが取り巻く環境は、便利さが優先され、時間短縮のための生活用品が次々に生み出されています。子育てをする大人に対する支援は、こうした目先の便利さに惑わされることなく、一人ひとりが本当に必要な支援を提供するべきです。子どもたちにとって最終的に必要なことは何かと考えると、じっくりと「手間暇かけて」育てること以外にはないのです。ですから、大人にはそれができるような社会を築く責任があるのではないのでしょうか。

子育て支援に対する考え方は、教育全体にも当てはまるものです。大人も子どもも両方が大切にされて、じっくりと手間暇かけて育ちあうための土台をどこに据えるか。平和学園ではその土台をキリスト教に置いて教育活動を行っています。

◆教育の軸

各国の政権が代われば、考え方も変わり世界全体、不安な時代が来ています。だからこそ、教育を通して何ができるかを考えていきたいのです。そこで、大切な事は家庭教育、学校教育、社会教育において、教育の軸があることです。一人ひとりが尊重され、自由で自分らしくあること。私という存在が誇らしく思えること。そのような教育が今の時代には必要です。

平和学園は71年目を歩み出しました。この学園の、特に、学校教育の入り口にある幼稚園、それに続く小学校に関わる者として、これからも子どもたちと向き合い、すべての教育の軸となるキリスト教の教えに基づいて歩んでいきたいと願っています。

聖書の言葉



平和を実現する人々は幸いです、その人たちは神の子と呼ばれる。

(マタイによる福音書5章9節)

平和学園は、賀川豊彦先生と村島婦之先生によって1946年に創立されました。学園の名称に平和が入り、学園の建学の精神の中に「真の平和をつくるまことの人を世に送り出すこと」とあります。賀川先生と村島先生は、第二次世界大戦を経験されました。戦争の悲惨さを知り、二度と起こしてはならないという決意のもとに学園を創立し、教育を通して平和を実現することを目指したのです。

戦後72年になり、戦争を体験した者は少なくなりました。戦後に生まれ、戦争を知らない人々が多くなりました。私もその一人です。私自身が戦争の悲惨さをあまり実感することができずにいました。

アレセイア湘南中高の行事に「広島平和の旅」があります。昨年、35回目を迎えました。私は引率教師としてその旅に参加する機会を得ました。生徒と共に広島平和公園内にある原爆資料館を訪ねました。広島教会で体験者の証言を聞きました。戦争の悲惨さを深く知る体験になりました。

イエス様は「平和を実現する人々は幸いです」と話されました。賀川先生、村島先生の、平和学園を創立した思いを受け止め、学園につながる私たちは平和を実現する人になりたいと願います。そのために私たち一人ひとりに戦争の悲惨さを知る努力が求められています。

(学園宗教主任 横山 厚志)

アレセイア湘南中学高等学校

中学修養会

寄り添うこと

中2B 木村 翠

今回の修養会では、「イエス様は学ぶ愛」という視点から、キリスト教について学びました。私は「愛」とは、相手のことを思い、相手に寄りそうことだと考えました。

1日目、2年生は「かみさまへのてがみ」というDVDを見ました。主人公は重いガンをかかえた少年、タイラー。タイラーは自分が大変な状態であるにもかかわらず、身近にいる人を心配し、神様にたくさんの手紙を書きます。そんなタイラーの人を思いやる心、希望を捨てない心に影響を受け、家族や友人の考え方や生き方が変わっていく話(実話)です。ガンをわずらわすていながらも他人を気にかけるのは、そう簡単にでき

ることでありませぬ。それができたのは、タイラーがキリスト教のいう「愛」を知った強い人だからではないかと思えました。



また、菊地先生の主題講

演を聞いて、自分の中にある弱さやどうやって愛に変えていくか、難しいことだけどもそれが重要なのだと考えました。

修養会を通して、私は愛することのすばらしさ、難しさを改めて感じました。最初の一步として、まずは身近な人を思いやり、寄り添うことを日々意識して、行動していきたいと思えました。

高1修養会

出 会 い

高1B 村田 和基

修養会のテーマである「出会い」には、日常から離れての自然との出会い、先生や級友たちとの出会い、聖書や神との出会いといった様々な意味が込められたように思います。

私はこの3日間で、聖書が人生を送る上で指針を示し、自分の気持や考えに向き合えるものであるということを知りました。聖書の御言葉は自身の人生の支えや助けとなるので、多くの先生方が、一つでも多く自分の好きな聖書の箇所を見つけてほしいとおっしゃっていました。

私はこの言葉に大変共感できました。先生方のお話の中に、「何事にも時があり、始まりと終わりがあ

る」との言葉がありました。私はこれまで過ぎ去った時間について振り返ることなどなかったし、聖書について深く考えたこともありませんでした。全ての時を大事にし、何事にも全力で打ち込む必要があるということも実感しました。

イエス様はどんな罪人や貧困な人にも平等に愛してください。そして、私たちの罪を全て許してください。このことに感謝し、今まで以上に神様に祈りを捧げようと思えました。



修養会 出会う 共生 自立

海外研修

出 会 い と 発 見

16年度 高2A 齋藤 知佳

この5日間で、私はシンガポールと日本の違いについてたくさん発見をしました。その中で印象に残った二つのことを紹介します。

一つ目はアラブストリートに行ったときのことです。アラブストリートはアラブの雰囲気を感じたような通りなのですが、道を一本抜けると全く違う雰囲気になっています。

また、一本の通りに様々な人種が集まっています。そういう所から多民族・多宗教国家だということを感じることができました。



二つ目はマレーシアのブライ村にホームビジットに

平和学習

知ることの力

中学1年生の平和学習は、二つの

テーマで行われます。一つ目は、「誰にでも優しい社会を考える」です。入学したばかりでほとんど交流のない同級生と宿泊を共にし、協力して食事作りをしたり、手話や点字、アイマスクやインスタントシニア体験を通して身体に障がいのある方や高齢者の疑似体験をしたり、そのケアを体験しました。さまざまな人とのふれあいは、今でも心に深く残っているようです。

二つ目は、「平和をつくるために

行ったときのことです。現地では宗教上右手だけを使ってご飯を食べ、肌や髪を隠す布を被って生活します。日本の文化に慣れている私には現地の人に合わせて生活することは大変でしたが、実際にそのように生活している人がいるということを感じました。

自分と違うものに出会い理解しあうことが国際理解に繋がるのだと実感することができた研修旅行になりました。

世界に目を向けて

16年度 高2C 川名 彩美

私達は4泊5日の台湾研修旅行でさまざまな経験をしました。その中で私にとって一番印象に残っているのは、淡江高級中学との交流とホームステイだ。

淡江の学生は皆、私達を温かく迎えて下さった。各クラスに別れて授業を受けたときも、皆が日本語で話しかけてくれて嬉しかった。コミュニケーションを取りたい相手の国の



できること」です。これは七ヶ月に渡って行われ、広島島の被爆者のお話を聞いたり、戦争やテロ、難民問題、差別やいじめなど世の中で起きていることを調べながら、何が平和につながるのかということを考えました。そして、最後の授業で紙芝居型のプレゼンテーション形式で発表しました。考えを深めれば深めるほど、平和を作ることの

言葉を学ぶことは、会話や成り立たせるためだけではなく、自分とは相手と仲良くになりたいんだという意思表示にもなるのだと気付いた。

ホームステイでは、今までに無い経験ができた。お母さんとは中国語、お父さんとは英語、お姉さんとは日本語で話した。大きなお寺に連れて行ってもらったり、台湾料理を食べさせてくれたり、たった一泊だったが、たくさんの台湾の文化と台湾の人の温かさを知ることができた。

この研修旅行を終えて、他の国の文化や言葉を知ったり、人と関わることは自分をいろいろな面で大きく成長させてくれるのだとわかった。これからはもっと世界に目を向けていきたい。

難しさを実感したようです。最終的には、「もっと相手のことを知る必要がある」「笑顔があれば皆仲良くなる」「まずは身近な人と仲良くすることが大切」「寄付はとても大切」「寄付だけでなく、自立できるように支援することが重要」「感情だけで動かず、立ち止まって理性で考えるべきだ」などの意見が出ました。

実際に思いを行動に移すのはまだまだ難しいようですが、この経験を土台にし、平和を作る人として一歩ずつ成長することを願っています。

(教諭 藤井 由紀子)

幼小中高一貫グローバル教育カリキュラム

2016年度から実施している幼小中高一貫グローバル教育カリキュラムの実践報告として、今回は、「言語力」を伸ばす学習の取り組みの一部を紹介します。

幼稚園

気持が宿る言葉の力

子どもたちの言葉の発達には目覚ましいものがある。

3歳児には自分が考えたことや気持ちを言葉で伝えることが難しい。友達が使っているものでも自分が欲しいと思つたら、言葉をかけることなく持って行ってしまふ。そこで教師は「貸して。」「いいよ。」という言葉で子どもたちに示す。4歳児になると、なぜそうなのかという理由を説明できるようになる。また、「そういう時はこんな言い方もあるよ。」と関わることで、バリエーションを増やせるようになる。5歳児になると友達の意見に対して自分はどう思うのかを自分の言葉で伝え、言葉のやり取りをして問題解決ができるようになる。

このように子どもたちには発達段階があるので、教師は子どもの年齢を考え、また、個人の発達状況を踏まえた上で関わりコミュニケーションの力を上げていく。基本的な会話力を身に付けた子どもたちが言葉の力を発揮させる活動とし



て、子どもたちの発想から創つていく数々の行事が平和学園幼稚園の特色にもなっている。まずは話し合いから始まる。クラスの中で自分の意見を言う。それを聞く。調整する。すべてが言葉によって進められていく。言語力の基本がここにある。身近な仲間との話し合いに始まり、最後は大勢の人に向けての発表までが言語力を育てるための貴重な機会となっている。

最後に忘れてはならないこと、それは、発せられる言葉の一つひとつにその子どもの気持が宿るといふことである。同じ意味の言葉でもどんな気持ちで言うのかで言葉の働きは全く違ってくる。平和学園幼稚園では、言葉を発した者が言葉に込めた気持ちを、聞く者が受け止められるように、そのバランスを培う教育を目指している。

(教諭 内山 佐代子)

小学校

日々の関わりを大切に

グローバルカリキュラムにおける言語力の育成と聞くと、最初に思い浮かぶのは、英語教育であると思います。小学校では、毎朝5分間英語の時間があります。低学年は、歌を通してリズムを感じ、身体も動かしながら音楽とともに英語を楽しみます。高学年では、毎朝英語の絵本を使って、聞いて話すことを繰り返すという耳からの学びを取り入れています。

しかし、英語の土台には、日々の言語力が必要です。子どもたちは様々な人との関わりを通して、言語

力を養っています。どのように伝えようと相手が分かりやすいのかを考え、関わりを通して言葉や言語表現を増やしていきます。このような日々の関わりだけではなく、行事を作り上げる時にも、言語力を養うチャンスです。どのような内容にするのか、どのように作っていくのかを、子どもたち同士で話し合います。話し合いを積み重ね、高学年になると、ディスカッションやディベートを行い、互いの意見を尊重し合うこと、言語を通じて他者に伝えることを学んでいきます。また、その積み重ねの集大成が卒業論文です。論文を書くことで、自分の考えや主張をまとめ、多くの人に広く知らせる方法も学んでいきます。卒業論文の発表の場でもある学習発表会では、卒業論文の内容を紹介するプレゼンテーションも行っています。



昨年は、東海大学の留学生を20人ほどお迎えして、交流を持ちました。その際には、英語のみならず、様々な地域の言葉を知り、その違いのおもしろさを感じました。また、ともにお話をし、それぞれの文化を知ることができました。その根底には、様々な人と関わりたい！という子どもたちの意欲と未知の世界への好奇心があります。それを満たし、実現するための言語力を、子どもたちは日々養っています。それは、子

どもたちが広い世界に出会うときに必要欠くべからざる力となるにちがいありません。

(教諭 白屋 幸・石上 雄一朗)

中学校

多様な体験の中で

中学校では、グローバルカリキュラムにおけるさまざまな体験や学びを通して、生徒の言語力を育てている。体験や学習のあと、講師やお世話になった方たちにお礼状を書き、自分がどんなことを学び、何を考えたのかということ、感謝の気持ちを言葉に表して伝えている。また、壁新聞や紙芝居形式に学んだことを分かりやすくまとめ、発表することもある。グループで考えるときは、他者の意見を尊重しながら、自分の考えを述べる話し合いが活発に行われている。

職場体験では、体験したい事業所に生徒が自分で電話をし、アポイントメントをとっている。顔も見えない初めて話す相手に、趣旨や志望理由を伝えることは、大人でも大変なことだ。何度も練習し緊張しながらも、生徒たちは自分の言葉で説明し、必死になって伝える。体験の許可が下りると、誰もが伝わったことの喜びをかみしめ、安堵の表情を見せる。



ほかにも、横浜の街でインタビューをしたり、「青年の主張」と題したスピーチなども行っている。さまざまな体験を重ねるごとに、生徒は自分の考えや感じたことを、自分の言葉で伝える力を確実に身につけている。

(教諭 高岸 美香)

高等学校

外国人へのインタビュ

本校がグローバル教育を通して身につけさせたいと考えている「言語力」とは、言葉を相手や場所によって適切に使い分けながらコミュニケーションを図れる力のことです。今回高校1年生が総合学習で行った、外国人へのインタビュー活動を紹介します。

昨年の11月に生徒はグループごとに、桜木町駅周辺で道行く外国人に、どこから来たのか、日本に来た理由等、英語でインタビューしました。



活動に際しては総合学習だけでなく、英語の授業でも準備しました。質問事項は自分たちで考え、ネイティブや英語の先生を相手に練習を重ねました。英単語や文法、表現だけではなく、通行中の外国人に路上で突然話しかけ時間を割いてもらうという状況を踏まえた上でのマナーや心構えも指導されました。

当日の活動は2時間に及び、生徒たちは桜木町周辺から山下公園、中華街にまで足を延ばして積極的に話しかけ、会話していました。

このように言語力が鍛えられ、実際に使ってみるといふ活動を通して、更に言語力が高められ国際社会への理解が深められることを願っています。

(教諭 澤野 太一)

2018年度入園・入学志願者への説明会等日程

育てます!! 「世界平和に貢献できる人」
幼小中高一貫グローバル教育カリキュラムを実施
 *** キリスト教に基づく教育の中で ***

平和学園幼稚園

- ・ 保育見学 (要予約) 10:15~
 6月~7月の月曜日・水曜日に実施予定
 9月~10月の月曜日・火曜日・水曜日に
 実施予定
 1日5組までとさせていただきます。
 詳しくはホームページを御覧ください。
 - ・ 入園説明会 (予約不要)
 9月20日(水) 10月25日(水)
- ※ 詳細は後日ホームページにてご確認ください。

平和学園小学校

- ・ 小学校体験 7月 1日(土) 10:00~11:30
- ・ イブニング学校説明会 7月14日(金) 18:30~19:30
- ・ 平和をともに 1日目 9月22日(金) 9:00~10:30(予定)
- ・ 平和をともに 2日目 9月23日(土) 8:40~10:30(予定)
- ・ オープンスクール 9月23日(土) 8:40~12:30(予定)
- ・ 学校説明会 9月23日(土) 11:30~12:30
- ・ 運動会 10月 7日(土) 9:15~14:30(予定)
- ・ バザー 11月 3日(金) 11:00~13:30(予定)
- ・ 学校説明会&学校案内 1月31日(水) 10:00~11:00
- ・ 学習発表会 3月 7日(水) 10:00~12:00
- ・ 学校説明会 3月 7日(水) 12:00~13:00
- ・ 小学校で遊んでみよう 3月23日(金) 14:00~15:00

アレセア湘南中学校

アレセア湘南中学校受験をご検討される方は、
 ホームページでご登録ください。 <http://www.aletheia.ac.jp/jr/>

- ・ 学校説明会<ホームページ申込み>
 第1回 7月15日(土) 10:00~
 第2回 9月28日(木) 10:00~
 第3回 10月28日(土) 10:00~
 第4回 11月11日(土) 10:00~
 第5回 1月13日(土) 10:00~
 スクールバスが
 辻堂駅南口より出ます
 第1回~第5回
 各日とも 9:20 9:40
- ・ 学校体験<ホームページ申込み>
 10月28日(土) 10:00~
 辻堂駅南口 9:20 9:40
- ・ 入試体験<ホームページ申込み>
 11月11日(土) 10:00~
 辻堂駅南口 9:20 9:40
- ・ スクールガイド<ホームページ申込み>(学校案内・個別相談)
 8月23日(水) 12月 9日(土) 1月20日(土)
 (各日 10:00・11:00)
- ・ スクールガイド<ホームページ申込み>(授業見学・学校案内)
 10月10日(火) 10月11日(水) 10:00
- ・ 平和祭<事前申込み不要>
 9月16日(土) 9:30~14:30
 11:00~14:30 個別相談コーナー

アレセア湘南高等学校

アレセア湘南高等学校受験をご検討される方は、
 ホームページでご登録ください。 <http://www.aletheia.ac.jp/h/>

- ・ 学校説明会<ホームページ申込み> (生徒保護者対象)
 第1回 10月21日(土) 10:00~ 14:00~
 第2回 11月 4日(土) 14:00~
 第3回 11月18日(土) 10:00~ 14:00~
 第4回 11月25日(土) 10:00~ 14:00~
 ※募集要項・志願書は、学校説明会の際にお配りいたします。
- ・ 夏休みキャンパスガイド<ホームページ申込み>
 (生徒保護者対象 学校見学会)
 7月22日(土)・24日(月)・25日(火)
 8月24日(木)・25日(金)・26日(土) (各日10:00~14:00)
- ・ 平和祭キャンパスガイド<ホームページ申込み>
 (生徒保護者対象 学校見学会 入試相談コーナー開設)
 9月16日(土) 9:45
- ・ キャンパスガイド<ホームページ申込み>
 (生徒保護者対象 学校見学会)
 10月10日(火)・10月11日(水) 10:00(この2日間は授業参観を含む)
 12月 2日(土) 10:00
- ・ 放課後 個別入試相談会<ホームページ申込み>
 (生徒保護者対象 学校見学会)
 12月18日(月) 16:00~17:00

問い合わせ先 電話番号

平和学園幼稚園 0467-87-1661 アレセア湘南中学校 0467-87-7760
 平和学園小学校 0467-87-1662 アレセア湘南高等学校 0467-87-0132

学校法人平和学園 0467-87-0131

ホームページもご覧ください。(検索:各学校名)



2016年度卒業礼拝 「人生で一番大切なこと」

(マタイによる福音書5章8〜10節)

茅ヶ崎平和教会牧師 大澤 秀夫

卒業おめでとうございます。聖書のことばを三つ、プレゼントします。第一は、「心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る」です。アレセイア湘南高校で皆さんは何を学びましたか。それは「よく見る」という態度だと、私は思います。アレセイアは「真理、真実」を意味します。事実を良く見て、よく考え、その真理にむかって行動する。それがアレセイア・スピリットです。

王子さま」。清い心で、真理を求めて生きる。そのとき、人は神にお会いすることができるのです。第二は、「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」です。これは学園聖句です。その仕事の中心が「平和」です。自分の心が「平和」であることが、自分の心と平和とを与えてくれるか。「まわりの人々に平和をもたらすか?」「世界の平和に役立つか?」そのことを、いつも考えましょう。

第三は、「義のために迫害される人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである」です。真実を求め、平和を実現するために働くことは、私たちに試練や苦労をもたらします。誤解や中傷、迫害だって受けるでしょう。それはイエス・キリストの生涯を見ればはつきりします。しかし、それこそが私たちに生きがいを与えてくれるのです。ナチスに抵抗して処刑されたライヒヴァインは、十一歳の娘に書き遺しました。「いつでも人には親切にしないさい。助けたり与えたりする必要がある人たちにそうすることが、人生で一番大切なことです。」卒業される皆さんの歩みの上に、豊かな祝福を心よりお祈りします。

ポスト・トゥルース(真実の通用しない時代)などと言われますが、そんなことはありません。「かんじんなことは目には見えない」とサンテグジュペリは言いました(『星の』)

最後に決断するのは自分自身であり、その結果を受け入れていくのも自分なのだ気付きました。そこで私は、学校の規模や知名度ではなく、自分が一番やりたいことができる大学に行きたいと思い選択しました。

私は小学校から高校卒業までの12年間、平和学園で過ごしました。好きなことや、やりたいことを自由に思い切りしていました。

学園では小学生の頃から、学年や性別を問わずに皆で交流していました。悪いことは注意し合い、良い事は一緒に喜びました。

その中で、自分で考え、善悪の判断をし、選択して決断する力が自然に備わったような気がします。

中学では、スチールパンやゴルフなど、普段は出来ないことを体験することで視野が広がりました。

高校生になり、卒業後の進路選択ではとても悩みました。誰かに相談したりアドバイスを貰ったりしても、

卒業生だより

平和学園での12年間

和田 碧夏 (2012年3月卒業)

今、12年間を振り返ってみますと、私の生活の中に当たり前のように、聖書、讚美歌、礼拝がありました。クリスマス礼拝の後にキャロリングに行くのも当然のことでした。聖書は物語のように染み込んでいきまし

た。小学生の時の授業で聞いた聖書に登場する人物の話は特に印象に残っています。社会人となった今、平和学園で過ごしたことで何が影響しているか考えてみました。それは、「人に優しくすること。」「目に見える事だけでなく、目に見えない。」ということになります。在学中は、あまりにも当たり前すぎて、その意味を改めて考えることもなかった毎日の礼拝でしたが、その中で身に付いたのだと思います。最後に、今、平和学園で過ごしているすべての皆さんに、礼拝を大切に「雰囲気」を守ってほしいと願っています。



法人だより

2017年2月〜5月

お知らせ

平和学園幼稚園は、2017年4月1日から「幼稚園型認定こども園」に移行しました。「平和学園幼稚園」の名称は変わらず、従来通りの教育活動の他に、茅ヶ崎市が調整した人数の二歳児の子どもを受け入れ保育を行っています。

人事・報告

I 役員・評議員

- ・17年3月31日付退任
理事・評議員 前川 義憲
評議員 鈴木 奈美
- ・17年4月1日付再任
評議員 奥田 幸子
- ・17年4月1日付就任
評議員 北中 寿
- ・17年4月1日付就任
評議員 青木 香織
- 評議員 中島 愛

II 教職員

- ・17年3月31日付退任(専任)
中高教諭 田代 若葉
- ・17年4月1日付就任(専任)
幼小教諭 近江麻衣子
- 中高教諭 高野 真吾
- 中高教諭 榎田 潮乃
- 古賀恵一郎
- 永年勤続表彰(20年以上)
- 17年4月28日
35年 中学高校 山田 信幸
- 30年 事務局 桑原万里子
- 25年 中学高校 長田 幸恵
- 20年 小学校 高橋 薫子
- 勝間亜紀子

III 教職員人数

	教員	講師	職員	計
高 校	52	28	7	87
中学校	13	9	1	23
小学校	13	12	2	27
幼稚園	78	49	10	137
計				

(2017年5月1日現在)

IV 生徒児童園児在籍数

	女子	男子	計
高 校	393	291	684
中学校	57	72	129
小学校	40	39	79
幼稚園	101	106	207
計	591	508	1099

(2017年5月1日現在)

V 行事

- ・学園新任研修 4月3日 4月10日
- ・創立71周年記念礼拝 4月26日
- ・平和学園パイプオルガン講座 2月4日 3月26日

VI 会議

- ・理事会 3月23日 5月25日
- ・常任理事会 2月16日 4月20日
- ・評議員会 3月23日 5月25日

VII 諸団体

- ・校友会主催) ジャズコンサート 5月20日

VIII 施設設備環境関係

- ・校章プレート設置 2月
- ・2号館無線LAN設備 3月
- ・中高教室テレビデジタル化 4月
- ・3号館ガラスブロック補修 4月